



88号 令和7年1月6日

＜学校教育目標＞

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立阿賀小学校
安宗 誠



巳年 是非 こんな年に！

辰年だった昨年、阿賀っ子の皆さんにとっては、どんな年だったでしょうか？辰年は、「活力がみなぎり、大きく成長し、形が整う年」とのことでした。決して穏やかなことばかりでなかったとは思いますが、振り返ってみれば、辰年にちなんだ年になったのではないかと思います。

今年は巳年ですね。蛇は脱皮を繰り返すことから、不老不死のシンボル、また、巳年は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」なのだそうで、是非、そういう年にしたいですね。

ところで、年の始めならではの風習や行事、たくさんありますが・・・。

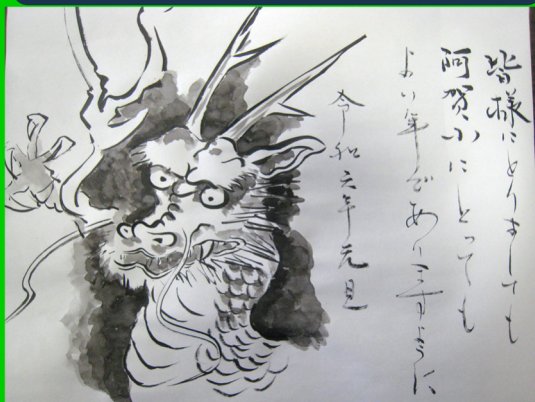
例えば、初詣。ふと、その起源が気になって調べてみますと・・・，

平安時代のころ、「年ごもり」という言葉で、大晦日の夜から元日の朝にかけて、神社に泊まり込んで一晩中、火を絶やさず眠らずに「五穀豊穡」や「家内安全」を祈願して、氏神様をお迎えする行事だったそうです。初詣という言葉は、意外と歴史が浅く、明治時代になってから使われるようになった言葉だそうです。ちなみに、神社での参拝の作法「二礼 二拍手 一礼」はときの明治政府が示した作法のようです。

「苦しいときの神頼み」という言葉があるものの、「苦しいときだけでなく、日頃から見えない力に感謝する」「人を見ていようが見てまいが、人の道をはずれず、正しく生きようする」それができていないと、御利益など期待できないとの見方もあります。それは確かにそうでしょう。

「善因善果（ぜんいんぜんか）」・・・善い行いをすれば、よいことが自分に返ってくる新しい年も是非そういう年にして参りましょう。

大きく成長し形が整う年になりましたね。



柔軟に発展していく年にしましょう。

